

日本漢方協会通信

2021年2月

新年のご挨拶

会長 今井 淳

新年明けましておめでとうございます。

佳き新年をお迎えてしょうか。

昨年2020年はオリンピックの年、日漢協も創立50周年にあたる年としてとして明るい年になるはずでした。しかし、1月には中国から、横浜停泊中の豪華客船から新型コロナ感染症のニュースが入り、瞬く間に感染者は全国に、全世界に広まることとなりました。オリンピックは早々に中止となり、大きな学会も中止となりました。日漢協も漢方総合講座をどうするか、多くの問題を抱えることとなりました。講座を中止することもせず、その対応にはビデオ配信、You Tube Web配信、会場探しなど普段では体験しえない多くの困難を乗り越えて来ました。11月の創立50周年記念第40回漢方学術大会もWeb配信により立派に出来ました。学術発表だけでなく、傷寒論序文の書写には素晴らしい書と、蒔絵などの素晴らしい芸術作品を見せていただきました。会員の技術文化の高さに驚きました。会運営に際し、講師の先生始め、事務局、理事、会員の一致団結のたまものでした。苦しいときこそ多くの発見、技術革新ができることを感じました。

今年はどうような夢が描ける一年になるでしょうか。新型コロナはまだまだ消えることはないでしょう。100年前のスペイン風邪をみれば、今年の末から来年始めには大きな感染ピークが再来するでしょう。治療薬が無い今、ワクチンが頼りの綱でしょうが、全国民が摂取できるまでにはまだまだ時間が掛かりそうです。ではどのような対応が必要なのか。それは我々一人一人が新型コロナウイルスに選ばれないことでしょう。新型コロナウイルスはヒトしか感染しません。そして如何に繁殖しようか、増殖できるヒトを選んでいるのではないでしょう。コロナウイルスは繁殖できずに無いヒトには寄りつきません。そのようなヒトの体内に入ったらすぐ殺されて繁殖出来ないからです。では、コロナウイルスが嫌うヒトはどのようなヒトか。それはただひとつ、免疫が強いヒトです。新型コロナウイルスに勝つ為に、私たちは免疫を高めることが第一です。その免疫を高めるには、食事、睡眠、運動の日常をしっかり実施することでしょう。

日本漢方協会にとって、2021年が創立51年目の年として、新たな一步を踏み出し飛躍する年となりますよう。そして、この会が役員、会員、支援していただける多くの方々と共に歩いて行けますよう、全てのヒトが健康でいられますよう、お祈り致します。